

大地震に備えて 防災教室を開催

外国人対象
河芸分署

千里ヶ丘に在住の外国人(ポルトガル語圏・スペイン語圏)を対象に、八月二十六日、河芸町千里ヶ丘団地のサンシャイン千里集会所とその周辺で、千里ヶ丘地区社会福祉協議会(木口晃司会長)と泉区自治会(松本幸重会長の主催)による大地震などに備えた防災教室が開催されました。



水消火器による初期消火を行う参加者

ら、地震体験車による体験や地震発生時の対応などの講話が行われました。
参加した人のほとんどが地震の体験は初めてで、「地震は怖い、住んでいる建物は大丈夫ですか。津波はここまで来ませんか。」などの質問が多く出されるなど、地震

防災教室には、外国人の家族など約六十人が参加し、河芸分署員が

に対する関心の高さがうかがわれ、防火教室では、参加者全員が終始熱心に耳を傾けていました。

救急事故現場を 実際に体験

三重大学医学部学生対象

中署

中消防署や北消防署の各署において、三重大学医学部の学生を対象に、四月十九日から約一年間、グループに分かれて、実際に救急車に同乗して出勤し、救急事故現場を実際に目で見て経験する研修が始まっています。

一分一秒を争う救急事故現場の実情を肌で感じることで、プレホスピタルケア(病院到着前救護)について学んでいます。

指導する救急救命士が、学生たちに研修の感想を尋ねると、「救急事故現場で救急隊員の迅速な対応に感動しました。」「JPTEC(病院前外傷教育プログラム)について丁寧に説明していただき非常に勉強になりました。」など感想を述べていました。



救急救命士より、救急資器材の説明を受ける医学生

救急救命士たちは、「この研修を通して、将来医師になる学生た

ちに少しでも、救急事故現場について理解をしていただき、救急医療体制のさらなる充実を図ることができればと、この研修への協力が入ります。」と熱く語っていました。

芸濃中学の生徒が職場体験で消防活動を学ぶ! 芸濃分署



はいポーズ!

消防士は、目指しを指し、消火活動の準備ができています。

九月十一日から十三日の三日間、芸濃中学校の二年生(女子一名)が芸濃分署での職場体験学習に参加しました。
参加した二名の生徒は、芸濃分署員より、消防業務の内容や車両の説明を受け、機械器具の点検、訓練礼式の他、ロープ結策や空気呼吸器の装着、放水訓練など様々な貴重な体験をしました。
毎年、消防署の体験希望者は多数で、くじ引きで決定しているとのこと。将来は、この生徒たちの中から一人でも多く消防士になることを目指す生徒もいます。

北署 水谷一人消防士長 世界マスターズウエイトリフティング選手権大会で5位入賞

去る八月二十五日から九月一日まで、ハンガリーのカジンバルチカ市で開催された、「二〇〇七年世界マスターズウエイトリフティング選手権大会」に日本代表選手(三十五人中)として、北消防署北署の水谷一人消防士長(94kg級)が出場しました。



表彰状を手に抱負を語る水谷消防士長

94kg級は八月三十一日に行われ、当初は十一名がエントリーしていましたが、検閲の量時の怪我などで四名が棄権し七名での競技となりました。
試合内容は、以前はクリアしていたスナッチ百十kgを二回失敗して七位の最下位になりました。次のジャークでは気持ちを切り替えて、日本マスターズ記録の百四十五kgを挙げ、三位と好成績を収めました。が、トータルで五位入賞に終わりました。
水谷選手は、「今後も消防業務に励む一方、来年のギリシャ大会でのメダル獲得に向けて日々努力・前向きに頑張りたい。」と力強く語っていました。